

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内致しますので、ご利用のほど宜しく願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- HLA-A, B(血清対応型タイピング) :項目コード 7223

受託開始日

平成30年1月4日(木)受託分より新規受託開始

▼今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目を中止させていただきます。

項目コード	検査項目	受託中止日
7301	HLA-ABCローカス (血清対応型タイピング)	平成 29 年 12 月 28 日(木)最終受託をもって中止



保健科学グループ

保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器保存方法	検査方法	基準値	所要日数	実施料判断料	備考
7223	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">曜日指定</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 5px; padding: 2px;">予約検査</div> </div> HLA-A, B (血清対応型タイピング)	血液 2.0 mL	E-6 冷蔵	PCR-rSSO 法	なし	4~7 日		※ *4

検査場所: エスアールエル(略号: *4)

※ HLA・移植関連検査の検体について

- 凍結保存は避けて下さい。
- 曜日指定・予約検査となりますので、採血前に必ず担当営業員にご連絡下さい。受付可能日は月～金曜日です。
- 続柄・臨床診断名・投与薬剤名・輸血歴・移植歴は必ず明記して下さい。
- 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに充分ご注意下さい。
- 必ず専用容器にて規定量を採血して下さい。やむを得ず規定量に満たない場合は、蓋を開けて陰圧を解除して下さい。ただし、MLC(リンパ球混合培養)と同時依頼の場合は、無菌であることが重要となりますので必ず規定量を採血して下さい。
- 移植後の HLA タイピングをご依頼の場合は、レシピエントとドナーのアリルが混在し判定できない場合がありますのであらかじめご了承下さい。

[ご注意]

移植後の HLA タイピングをご依頼の場合は、移植前の HLA の結果と提供者の HLA の結果を必ず依頼書にご記入下さい。

▼ 臨床的意義

1. 移植

臓器移植と HLA 抗原の関係は最も多く研究されており、現在ではレシピエントとドナーの HLA 抗原を適合させることは必須である。免疫抑制剤を使用した場合でもレシピエントとドナーの HLA 抗原が一致している程、移植成績は良いとされている。

2. 疾患感受性の相関

HLA 抗原と疾患感受性の相関については、HLA-B27 と強直性脊椎炎や HLA-B51 とベーチェット病などの強い相関性が報告されて以来、多くの疾患について研究されている。現在のところ、HLA 抗原は疾患感受性遺伝子と連鎖不均衡にある場合も想定され、その遺伝子を知る上でのマーカーとして意義があるものと思われる。また、HLA 抗原出現頻度は人種間によって非常に偏りがあり、この人種差は疾患感受性などと HLA 抗原の相関を理解する上で重要である。

3. 血小板・白血球輸血に際しての適合試験

血小板輸血に関しては、HLA 抗原適合群と HLA 抗原非適合群には歴然とした差があり、その止血効果も異なる。顆粒球を含む白血球輸血に際しては、その適合は当然必要とされる。

▼ 検査方法参考文献

吉川 枝里、他: MHC10(1):21-31, 2003.